

令和7年4月17日に、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、小学校では国語・算数・理科の3教科、中学校では国語・数学・理科の3教科で実施されました。明和町立小学校第6学年の児童162人と明和町立明和中学校第3学年の生徒193人が参加しました。調査結果については、本町では、平均正答率を小学校国語でわずかに上回り、算数ではほとんど差が見られず、理科でわずかに下回りました。中学校では国語、数学、理科ともにわずかに下回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【小学校 国語】〔 〕内の記号は、問題番号

＜おおむね理解している問題＞

- ☆時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる問題〔 3（1） 〕（正答率：約8割）
- ☆時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる問題〔 3二（1） 〕（正答率：約8割）

＜課題がみられた問題＞

- ★目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題〔 1一 〕（正答率：約5割）

大問 1一

【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する。

二 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。

2 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。

3 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしている。

4 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

一 【話し合いの様子】の小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、――部の発言をしました。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。

3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。

4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューすることにしました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを知りたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだな。

小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切なこと】で話してくれたことをきいて、【仕事で大切なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思ってたけど、大変なこともあるんだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることややりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でいいかな。

働くこと（バスの運転士）

大切にしていること やりがい

予想 安全を守る 時間を守る

大変なこと 大変なのに続ける理由

【話し合いの記録】

課題がみられた問題

- 1と解答しているもの 11. 3%
- 2と解答しているもの 14. 4%
- 3と解答しているもの 23. 8%
- 4と解答しているもの 50. 6%（正解）

誤答例の分析と課題

ここでは、【話し合いの様子】において、相手から聞きたいことを引き出すために、どのようにインタビューを進めるかを考えることが重要です。しかし、小森さんが複数の質問の違いを関連付けていると捉えることはできるが、聞きたいことを相手から引き出そうとしていることを捉えることができていない誤答が23. 8%あります。複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうと捉えることが求められています。

＜今後の学習の手立て＞

目的や意図に応じて、集めた材料から必要な事柄を選んだり、その内容を検討したりすることが大切です。また、複数の質問がある場合、質問の違いを明確にし、質問をつなげて聞くことができるよう指導していきます。

【小学校 算数】

〔 〕内の記号は、問題番号

＜おおむね理解している問題＞

- ☆異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる問題〔 3 (4) 〕（正答率：約8割）
☆伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかをみる問題〔 4 (1) 〕（正答率：約8割）

＜課題がみられた問題＞

- ★目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題〔 1 (2) 〕（正答率：約3割）
★分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題〔 3 (2) 〕（正答率：約2割）

大問3(2)

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、 $2 + 1$ を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

〈正答の条件〉

次の(1),(2),(3)を書いている。

(1) $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ に共通する単位分数が、 $\frac{1}{12}$ であることを表す数や言葉

(2) $\frac{3}{4}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

(3) $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

- ☐ (1),(2),(3)の全てが書けているもの・・・19.4%
(正解)
☐ (1),(2)を書いているもの・・・0.6%
☐ (1),(3)を書いているもの・・・0.6%
☐ (1)を書いているもの・・・6.9%
☐ (2)を書いているもの・・・0.6%
☐ (3)を書いているもの・・・0.6%
☐ 通分について書いているもの・・・36.3%
☐ 上記以外の回答・・・26.9%
☐ 無解答・・・9.4%

課題がみられた問題

誤答例の分析と課題

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉で記述できていないと考えられます。

＜今後の学習の手立て＞

分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、単位分数を見いだすことができるように指導していきます。また、共通する単位分数を見いだすことで、整数の加法に帰着して考察できるようにしていきます。

＜おおむね理解している問題＞

- ☆赤土玉の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤土玉の量と水の量を正しく設定した実験の方法をし、表現することができるかどうかをみる問題
- [1 (1)] (正答率：約8割)
- ☆電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる問題
- [2 (3)] (正答率：約8割)

＜課題がみられた問題＞

- ★身の回りの金属について、電気を通すもの磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題
- [2 (1)] (正答率：約1割)
- ★レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題。
- [3 (4)] (正答率：約2割)

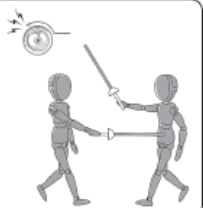
課題がみられた問題

大問2(1)

アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。

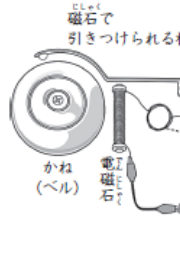
てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。

自分の剣を相手に当てたとき、かね（ベル）が鳴り、得点を知らせるようにしたいね。

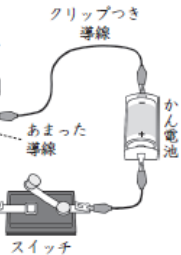


これらの物を使ってつくことはできないかな。


電気を通す剣


電気を通さない持ち手


かね（ベル）


クリップつき導線


かん電池


スイッチ


電気を通す人形

電気を通す剣や磁石で引き付けられる板を、アルミニウム、鉄、銅のどれでつくろうかな。

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

1 電気を通し、磁石に引き付けられる。

2 電気を通し、磁石に引き付けられない。

3 電気を通さず、磁石に引き付けられる。

4 電気を通さず、磁石に引き付けられない。

- アルミニウム1、鉄1、銅2として解答しているもの

・・・1. 2%
- アルミニウム2、鉄1、銅1として解答しているもの

・・・5. 6%
- アルミニウム2、鉄1、銅2として解答しているもの

・・・4. 3%

(正解)
- 鉄2として解答しているもの

・・・7. 4%
- アルミニウム、鉄、銅のいずれかに3・4として解答しているもの

・・・80. 2%
- 上記以外

・・・0. 6%
- 無回答

・・・0. 6%

誤答例の分析と課題

磁石の性質について、磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があること、電気を通すものと通さない物があることの2つの知識を身につけていないためと考えられます。

＜今後の学習の手立て＞

理科に関する知識の習得だけでなく、自然の事物・現象と関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深めることができるよう指導していきます。

＜おおむね理解している問題＞

- ☆目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題
- [1 2] (正答率：約8割)
- ☆文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる問題
- [3 2] (正答率：約9割)

＜課題がみられた問題＞

- ★資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題
- [2 4] (正答率：約2割)
- ★文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題
- [3 4] (正答率：約1割)

大問3四

「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」に書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く。

課題がみられた問題

〈正答の条件〉

次の条件を満たして解答している。

- (1)どのような効果があるかを書いている。
- (2)(1)の理由を「一 榎木の実」にあるが、「二 釣の話」にはないという展開を踏まえて書いている。
- (3)(2)について、物語の内容を適切に取り上げている。
- ☐

(1),(2),(3)の全てが書けているもの・・・

14. 5%

(正解)
- ☐

(1),(2)を満たし、(3)を満たさない。・・・

0%
- ☒

(1),(3)を満たし、(2)を満たさない。・・・

33. 2%
- ☐

上記以外の回答・・・

20. 2%
- ☐

無解答・・・

32. 1%

誤答例の分析と課題

文章の展開について根拠を明確にして考えることができないもの、このような展開になってどのような効果があるかを自分の考えで具体的に書いていないもの、またその理由を文章の内容を適切に取り上げていないものがあると考えられます。

--	--	--	--	--	--	--

③ 次の文章は、島崎藤村が書いた「二人の兄弟」という物語です。この物語は、「一 榎木の実」「二 釣の話」で構成されています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

四 [] で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のおとに続く話が書かれています。あとに続く話は、「一 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

＜今後の学習の手立て＞

文学的な文章において、文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそうなったのか、どんな効果があるのかを根拠をもとにして考えていけるよう指導していきます。

【中学校 数学】 〔 〕内の記号は、問題番号

<おおむね理解している問題>

☆必ず起こる事柄の確立について理解しているかどうかをみる問題 〔 7（1） 〕（正答率：約8割）

<課題がみられた問題>

★素数の意味を理解しているかどうかをみる問題 〔 1 〕 （正答率：約2割）

★式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題。
〔 6（2） 〕（正答率：約2割）

課題がみられた問題

大問 1 1 から 9 までの数の中から素数を全て選ぶ。

1 下の 1 から 9 までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

誤答例の分析と課題

素数の意味について「1 とその数自身以外に約数をもたない」という意味を捉えられず、1 を素数に含むと解答したものが、5 9. 6% あります。基本的な知識の定着が十分でないと考えられます。

- 2, 3, 5, 7 と解答しているもの・・・21. 8%
(正解)
- 3, 5, 7 と解答しているもの・・・2. 1%
- 2, 3, 5, 7、9 と解答しているもの・・・4. 1%
- 1、2, 3, 5, 7 と解答しているもの・・・17. 6%
- 1, 3, 5, 7、 と解答しているもの・・・8. 3%
- 1, 3, 5, 7、9 と解答しているもの・・・16. 6%
- 上記以外で 1 を含んで解答しているもの・・・17. 1%
- 無解答・・・0. 5%

<今後の学習の手立て>

素数についての理解は、約数・倍数など整数の性質を捉え直すことにつながります。基礎的な知識を確実に身に付け、その上で思考力を伸ばしていけるよう指導していきます。

＜おおむね理解している問題＞

☆身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる問題
〔 3（2） 〕（正答率：約8割）

＜課題がみられた問題＞

★水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる問題
〔 1（4） 〕（正答率：約3割）

★塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる問題。
〔 1（5） 〕（正答率：約3割）

課題がみられた問題

大問 1(4)

生物 1 から生物 4 までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する。



- ☐ 生物 1、生物 2、生物 3、生物 1・2、生物 1・3 生物 2・3、生物 1・2・3 と解答しているもの
・・・ 60.8%
- ☐ 生物 4 と解答しているもの・・・ 0.5%
- ☐ 生物 2・4 と解答しているもの・・・ 1.0%
- ☐ 生物 1・2・3・4 と解答しているもの
・・・ 27.3%
(正解)
- ☐ 上記以外の解答・・・ 10.3%

誤答例の分析と課題

生命を維持する働きに関する知識が求められますが、動いている生物が呼吸を行う 60.8%、動いていない緑色の生物が呼吸を行う 0.5%、緑色の生物のみが呼吸を行う 1.0% 解答している。生命を維持する働きに関する知識が、概念として身につけていないと考えられます。

＜今後の学習の手立て＞

生命を維持する働きとして、消化や呼吸、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みなどに関連付けて、理解できるよう指導していきます。

子どもたちが肯定的に回答した割合が高かった主な設問

【 小 学 校 】

人の役に立つ人間になりたいと思う。

97.7%

(全国 96.4%)

授業で ICT 機器を週 3 回以上使用している

89.4%

(全国 71.7%)

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている。

90.5%

(全国 84.9%)

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

89.4%

(全国 81.3%)

【 中 学 校 】

人の役に立つ人間になりたいと思う。

96.9%

(全国 96.4%)

授業で ICT 機器を週 3 回以上使用している

94.8%

(全国 76.5%)

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。

85.0%

(全国 77.7%)

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。

93.8%

(全国 91.6%)

子どもたちの課題がみられた設問

土・日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間勉強をするか。(塾・家庭教師・インターネットを活用した学習も含む) (1 時間以上)

小 **35.5%** (全国 47.1%)

中 **35.5%** (全国 57.9%)

家におよそどれくらい本があるか。(一般の雑誌・新聞・教科書は除く) (101 冊以上)

小 **30.2%** (全国 30.9%)

中 **20.7%** (全国 27.2%)

明和町では、教育活動全体において、子どもたちを認めたり励ましたりしながら自尊感情を育み、仲間と安心して学び合える環境づくりに取り組んでおります。子どもたちの「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業づくり、命の大切さや他人を思いやる心をはぐくむ教育の充実、安全で安心して過ごせる環境づくりを目指しています。子どもたちの回答からもその成果が伺えます。個別的な学びや協働的な学びを進めることで、子どもたちの学習の理解度が高まります。これからも ICT 機器を効果的に活用し、自分の考えをうまく相手につたえることができる力を育てる授業づくりに取り組み、学校・家庭・地域とともに明和町の教育を進めていきます。

ゲーム、SNS や動画視聴の時間は、小中学生ともに増加の傾向にあり、読書や家庭学習の時間に大きな影響を与えています。各学校では、読書環境の整備や家庭学習が充実したものになるよう家庭学習の手引き等をご家庭に提示し取組を進めてまいります。ご家庭では、子どもたちが学習に取り組みやすい環境づくりや声かけをお願いします。